



日本赤十字社

小野田赤十字病院広報誌

オー アール シー
*O*nod*a* *R*ed *C*ross

2011

4月号
Vol 165



石巻市内での巡回診療

大地震とそれに伴う津波による甚大な被害に加えて、原子力発電所の事故という未曾有の大災害が起きました。救護に加えて、今後の復興に向けて、私たちもできることがあるはずで

す。

病院の理念

- (1) 私たちは、「人道・博愛・奉仕」の赤十字精神を基本に生きていることの価値と喜びを追求する病院づくりをします。
- (2) 私たちは、思いやりの心を忘れず、皆様の健康へのみちを全力で支援します。
- (3) 私たちは、地域に貢献し、安心と信頼が得られる社会をめざします。

基本方針

- (1) 患者さまならびに職員の生きがいを尊重し、権利を擁護する。
- (2) 患者さまのプライバシー保護に努める。
- (3) 療養病棟では、高齢・認知症・難病等の患者さまに配慮する。
- (4) 医療社会事業を通じて、地域住民の皆さまの健康づくりを支援する。
- (5) 「健診・救急・高齢者医療」を三本柱とし、地域の保健・医療・福祉機関との連携を推進する。
- (6) 医療の質の向上と安全管理に努め、全人的医療をめざす。
- (7) 医療記録を適正に管理し、規定にしたがって開示する。

東北関東大震災発生

平成 23 年 3 月 11 日午後 2 時 46 分、三陸沖を震源に日本国内観測史上最大のマグニチュード 9.0 の地震が発生しました。この地震により、大津波も広範囲で発生、多数の犠牲者を含め、甚大な被害をもたらしました。に加え、地震・津波の影響による福島原発の事故も起こっています。



日本赤十字社では、地震発生と同時に先発隊を派遣し、被害の実態の把握に努めると同時に救護班の派遣を行いました。翌 12 日には、全国の赤十字病院からの救護班が現地に向け出動しました。

小野田赤十字病院では、山口県支部の第 3 班として、医師 1 名、看護師 3 名、主事 2 名と山口県支部の主事 2 名を加えた計 8 名の救護班が、3 月 17 日に出動、宮城県石巻市に向かいました。



石巻赤十字病院内にある災害対策本部に到着後、3 月 18 日より、石巻市渡波（わたのは）地区の巡回診療を開始しました。



道路はかろうじて整備されていましたが、それ以外はほとんど津波による被害を受けたままの状態のなか、保育所や小学校、お寺などに開設された避難所 4 か所、受診者 105 人の診療を行いました。同様に 3 月 21 日の午前中まで、巡回避難所 10 か所、228 人を診療しました。

今後も、こころのケア

(災害によるストレスを受けたすべての被災者に対して、精神的なダメージ、心身の疲労、避難生活から生じると考えられるストレス状態の軽減を図るもの。)に向かう予定です。



日本赤十字社では、義援金の募集や、毛布などの災害救援物資の搬送を行っています。また、血液の安定供給のための献血など、継続的なご協力をお願いいたします。

教えて小野田赤十字病院のこと

第3回は、神経内科 野垣 宏先生をご紹介します。

野垣 宏先生は、山口大学医学部保健学科教授で、神経内科を主に診療しておられます。神経内科は、脳、脊髄、末梢神経、筋肉に発生する病気を担当する内科の一部門です。

うつ病やノイローゼなどの精神疾患は、精神科や心療内科が扱う病気です。

先生は、神経内科疾患全般を診療されていますが、特にパーキンソン病を専門とされています。パーキンソン病は中年期以降に発症する脳の病気で、脳の病気の中では、脳卒中、アルツハイマー病に次いで多い病気です。手足のふるえや歩行障害が出現し、治療を受けなければ徐々に進行します。しかし、種々の効果的な薬があり、おおむね天寿をまっとうできる比較的良性の病気だそうです。最近では、手術が行われることもあるそうですが、基本的には薬で症状を軽くさせ、できる限りいつもの生活スタイルを継続することが重要だと言われていました。



野垣先生ありがとうございました。「最近、手足のふるえなどがひどくなってきたんだけど…」などと感じている方は、一度相談されてみてはいかがでしょうか？



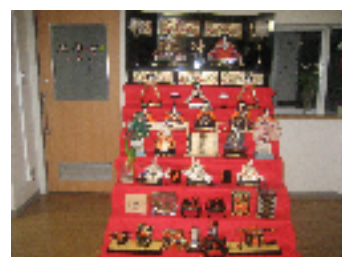
ひな祭り



3月3日は桃の節句・ひな祭り。女の子のすこやかな成長を祈る節句です。3病棟では3月2日にひな祭り会を行いました。前に並んだお内裏様とお雛様に患者様が衣装を送り完成させる仮装リレーをしたのですが、お雛様の顔が白過ぎて不気味過ぎること以外では盛り上がりました。仮装リレーの後は皆様と写真を撮って、とても思い出に残る(?) ひな祭り会になりました。



ひな祭りは、古代中国から伝わったもので、日本では平安時代から行われていたようです。もともとは人形に災いを託して川に流す儀式でしたが、江戸時代ぐらいから雛人形を飾る現在のようになつたと言われています。



また、桃の節句とも呼ばれ、雛人形を飾り、桃の花、白酒、菱餅、あられなどを供える風習があります。桃の花は、中国伝来の思想で、魔除けの力があるという考え方があったため、桃の花を愛(め)で、桃の花を浮かべた酒をのみ、桃の葉を入れたお風呂に入ることで無病息災を願いました。また菱餅の三色には、紅(花)・白(雪)・緑(新しい芽)で春を現す...と言われます。



身体のおはなし

パーキンソン病について

高齢者社会において脳卒中、アルツハイマー病について多い病気ですが、あまり知られていない病気の一つでは、ないでしょうか？

パーキンソン病といわれて、なんとなく聞いたことはあるけれど、『どんな病気ですか？』と戸惑われる方も多いと思います。だから…パーキンソン病について調べてみました。

パーキンソン病は、脳の中の黒質にある神経細胞がへることによって、ドーパミンという神経伝達物質が減少するためにおこる病気です。ドーパミンが減ることで、動作を円滑にしようとする脳の指令が上手く伝わらなくなる病気のことで、

そのために、

①『振戦』＝ふるえ

片側の手や足がなんとはなしに振るえる。

丸薬を丸めたり、お金の勘定をしているように見えます。

②『無動』＝のろくごちない動き

瞬きが少なくなって表情が固くなったりする。

③『固縮』＝手足の筋肉が固くなること

④『姿勢反射障害』＝姿勢のバランスが崩れたとき立て直せず倒れ込んでしまったり、歩いていると加

速がついて、自分の意思では止まれなくなる。

以上4つが主な症状です。



ただパーキンソン病は薬が効く病気です。早めに治療を開始することが出来れば、症状の進行を止めることが可能です。



療養に大切なこと

①日々の生活を快適にしましょう。

入浴・衛生・排泄・リハビリ・着衣等

②自立することは、自己尊厳を持つことにつながります。

③自分のことだけでなく家族や他人を支えましょう。

④不安、不満、恐れは素直に出しましょう。

⑤思いやり、ユーモアを持ちましょう。

他にも色々ありますが、これって周囲のひとにも大切なことだと思います。

パーキンソン病になって何がつらいかと考えて見ました。それは、自分の体が思うようにならない苛立ちもあると思います。また、病気の進行に対する恐れ不安、それだけでなく感情が表情に表れにくいのでなかなか気持ちを理解してもらいにくいこと、言葉が上手く出ないのでコミュニケーションがとりづらいたくさんなことがあるのではないかとおもいます。

パーキンソン病では、患者・家族会もあります。また、適用される制度等についても、詳しくは、かかりつけ医またはその地域連携室等及び担当ケアマネージャーなどにご相談ください。

まず、周りの人が病気についてよく知って、無理をせず出来ることで、お互いが支えあえる環境を作っていくことが大切なのでは、ないでしょうか？

パーキンソン病に対して、症状を遅らせ、自立した生活を長くサポートできることが出来たならと考えると、早く周りが、気付いてあげられたらいいなと思います。



外来診療担当医表

(都合で交代・休診することがあります。ご了承下さい。)

平成23年4月

4月 行事予定

診療科(受付時間)		曜日		月	火	水	木	金
		時	診					
内科	8:30~	1診	藤部 香里	藤部 香里	御厨 邦子	藤部 香里	島袋 明子	
	11:30	2診	御厨 邦子	和田 一成	江本 政広	和田 一成	名尾 朋子	
		3診						
外科	8:30~11:30		友近 忍	佐藤 智充	水田 英司	佐藤 智充	友近 忍	
皮膚科	13:00~14:45			武藤 正彦				
	13:30~16:30						浪花 研一郎	
神経内科	14:00~16:30		川井 元晴					
	14:00~15:30						野垣 宏	
神経科	8:30~11:30					秋元 隆志		
眼科	8:30~11:30			萩田 勝彦			萩田 勝彦	
整形外科	15:00~17:00		3月7日(木)、14日(木)、20日(水)、28日(木)					

6日 クラシックコート鑑賞会
(老健)

7日 山口県議会議員
一般選挙不在者投票

11日 小鳩会
(封筒作り)(老健)

20日 吟剣詩舞道静炎会
(老健)

21日 宇部市議会議員
一般選挙不在者投票



先月のボランティア(2月21日~3月20日)

2月23日 須恵保育園(お遊戯)
(先生6名 園児59名)

3月16日 銀友会(マジックショー)(3名)

2月14日 民生委員ボランティア(封筒作り)
(4名)

毎週ボランティア一樹会 (約10名)

ボランティアの皆様、ありがとうございました。

老健入所中の方と民生委員の方とで作られた封筒は、職員健診の返信用の封筒として使わせていただいています。ありがとうございます。

*** 編集後記 ***

・たとえ遠くで起きていることでも今度ばかりは他人事じゃ済まされない。当たり前の日常に改めて感謝しています。

益成

・庭先のすいせんが、やっと咲いてくれました。

竹岡

・東北関東大震災で被災された方たちのために、「自分は何ができるのだろうか?」と自問自答する毎日です。

坂本

・PSPを買うか、12月に発売の新型PSP(NGP)を買うか迷っています。

小林

・大災害の中でも秩序を守っているなどの被災された方々の態度に世界中が驚嘆しているそうです。話は変わりますが、20数年前の『タイムズ』の曲を思い出しています。

大貫

今月の料理

紅茶プリン

◆材料◆



素 材	分 量 (直径6cmのプリン型 4~5 個分)
紅茶の葉(アッサム、 ダージリンなど)	大さじ1杯強
牛乳	1カップ
生クリーム	1/2 カップ
砂糖	大さじ3杯
メープルシロップ	適宜
粉ゼラチン	5g

作り方

- ① 水大さじ2にゼラチンをふり入れてふやかす。
- ② 小鍋に紅茶の葉と、熱湯大さじ2を入れ、3~4分おいて葉を開かせる。牛乳、生クリーム、砂糖を加えて、混ぜながら沸騰直前まで温め、火を止める。
- ③ ②にゼラチンを加えて溶かし、ざるでこしてボウルに移す。ボウルの底を氷水にあて、ゴムべらで混ぜながら冷やす。
とろみがついたら型に入れ、冷蔵庫で冷やし固める。
- ④ 型の表面を軽く熱湯にあて、プリンを器に取り出し、メープルシロップをかける。

~牛乳に含まれる栄養素の効用~

牛乳には、カルシウムをはじめ、たんぱく質、脂質、ミネラル、ビタミン、炭水化物(糖質)など、体に必要な5大栄養素がバランス良く含まれているため

便通の改善・体調維持・貧血の予防などに効用があるといわれています。

昨年夏、水害で大きな被害を受けた厚狭地区で、今年も3月1日~20日まで「寝太郎の里おひなさまめぐり」が行われました。ひょっとして今年はないのでは?とも思っていたのですが、復興の気持ちも含めて開催されました。その期間中に、東北関東大震災が起きました。今回の被災地も、少しでも早く日常が戻るようお願いばかりです。

世界中からも次々に支援の声と手が挙がってきています。『情けは人のためならず』図らずも、今回の大震災で実感されます。



がんばろう東北がんばろう日本

ORC (オー・アール・シー) 2011年4月号

平成23年 4月 1日 発行

発行所 山陽小野田市大字小野田字植松3700

小野田赤十字病院

発行人 水田 英司